



12月15日(日)に歌志内チロルアリーナ(歌志内市)で開催された、少年野球全道U-10大会「第2回ジュニアチャンピオンズリーグ(U-10)」決勝戦で、せたな町の少年野球チーム北檜山ラウドネスが見事勝利し全道大会優勝を果たしました。

この大会は、道内の小学4年以下43チームが参加し、これまで各地の屋外や室内野球場で試合が行われていました。

順調に勝ち進んだ北檜山ラウドネスは、決勝戦で小樽シーレックス奥沢(後志)に、エース吉野龍生投手(4年)の4安打5回完封という好投に打線も応え4-0と勝利し、秋の新人戦に続き平成25年で2度目の全道大会優勝という快挙を果たしました。

編集後記

●幼稚園のお遊戯会取材しに行ったとき、ホールは保護者の皆さんで入ることすら敵わず、横断幕越しでの撮影を余儀なくされました。踏み台を使ってもギリギリの高さだったので、こういつときだけ背が高くって本当によかったなと思えました。今年は昨年の反省を踏まえ、ベストポジションで1枚でも多く広報に使える写真が撮れるよう頑張りたいです。今年も一年よろしくお願ひします。(児島)

●先月の編集後記で、流行語の予想をしました。ほとんどが選ばれたという拍子抜けの結果となりました。それはさぞおき、北檜山ラウドネスもまたも全道優勝し、しかも一度も、ものすこし活躍ですね。平成25年はサッカーも全道準優勝と、子どもたちの活躍には頭が下がります。平成26年も子どもたちの更なる活躍を期待します。さて、新年号の表紙ですが「せたな町の特産「男爵いも」を正月っぽく「いもパン」にして「覧」たいという皆さんの年賀状というイメージで制作しました。この広報誌はパソコンを使つてすべて手作りして編集していますが、なかなか手作り感が伝わらない部分がありますので、何か手作り感が伝わるものと、勝手な思いでやらせていただきました。100円ショップで材料を調達し、一人一人パソコン作業(自他ともに認めるミスラ不器用の児島くんは、自ら戦力外を宣言したため、をしてくれませぬ。課の皆さんが忙しななか手伝つてくれました。おかげで予定していたより30%多い「いもパン」ができました。本当にありがたうございました。下の写真はそのときのものです。しかし、じゃがいもは柔らかいので想像以上に難しかったです。そのじゃがいもはどこからもってきたか?妻に内緒で自宅からです。これを見て、新年ということで大目に見てくださいます。というご声援も今年もよろしくお願い致します。(尾野)

